安川電機技術コラム

豆大福先生に聞いてみようよ!

豆大福が大好きな通称“豆大福先生”が、安川電機の製品にまつわる疑問や業界のトレンドを分かりやすく解説します。



第2回 サーボが設備の異常を見つける?

～Σ-Xで実現する“止まらない工場”への第一歩～



近年、製造業のキーワードとなっている「スマートファクトリー」。デジタル技術を活用し、生産ラインや装置のデータを収集することで、効率的かつ安定した生産を目指す工場のことです。しかしデータ収集と聞いて、何から始めればよいか分からない・装置設計の変更が不安という方も多いかもしれません。今回は最新のACサーボドライブΣ-Xシリーズによるデータ収集・活用の方法をご紹介します。

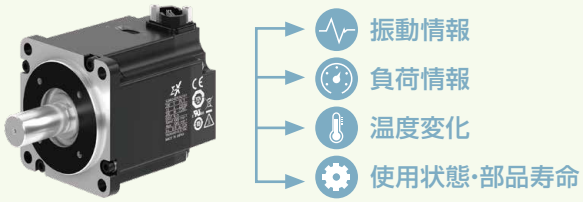
① 異常検知機能 ～サーボが設備の「いつもと違う」を検出～

Σ-Xの異常検知機能は、あらかじめ記録した正常時の運転データと、実際運転データを比較し、振動や動作特性の変化から設備の異常を検出します。



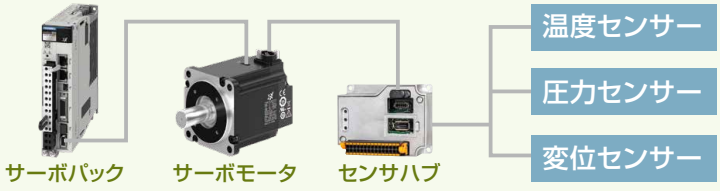
② サーボモータがセンサーになる

Σ-Xのもう一つの特長は、サーボモータそのものをセンサーとして活用できることです。従来のように装置へ新たなセンサーを追加しなくても、モータの状態や負荷情報、振動情報などを利用してデータ収集が行えます。



③ Σ-LINK IIで広がるデータ活用

Σ-LINK IIセンサハブを介して各種センサーを接続し、Σ-Xサーボモータのデータと同期した情報を同時収集できます。サーボ周期に同期した高品質なデータ取得により、データ処理工数の削減に貢献します。



豆大福先生のポイント



Σ-Xは、サーボモータ自身をセンサーとして活用し、正常時との違いから設備の異常兆候を検出できます。さらに、Σ-LINK IIとの連携により多様なセンサーデータを同期収集し、突発停止の予防や品質向上、保守効率化に貢献します。

Σ-Xで実現する
“止まらない工場”をチェック

■ お問い合わせ先
モーションコントロール事業部 事業企画部 事業企画課
TEL : 04-2962-5470

やすかわくんが旅をする！ 第2回

全国の安川グループの拠点をぼくが訪ねて、みんなに紹介するコーナー！
第2回は埼玉県さいたま市にある「関東ロボットセンタ」に行ってきたでやす。

関東ロボットセンタ

埼玉県さいたま市北区宮原町

関東ロボットセンタは「来て・見て・触ってロボット体験」をコンセプトに、産業用ロボットMOTOMANを使って、お客さまの課題解決や新たな自動化への活用方法を探求する施設です。



来て！ 見て！ 触って！

最新ロボットを体験

カストマソリューションプラザ（CSプラザ）



アプリケーションを組み込んだデモ機や新型ロボットが勢ぞろい！いろいろなロボットの動きを間近で見て、最新の自動化ソリューションを体験することができます。

お客さまの課題解決をお手伝い

ソリューションテストエリア



お客さまのワークを使ったソリューションテストができるエリア。多種多様なロボットを完備しているので、導入前の検証や課題の確認をすることができます。

サポート体制も充実しているでやす！



ユーザースクール
産業用ロボットMOTOMANを使用した様々な教育カリキュラムをご用意しています。



テクニカルフォーラム
拡販パートナーやシステムインテグレータの方に向けて、最新のロボット・周辺機器・アプリケーションなどの情報を発信するフォーラムを開催しています。

※見学やテストをご希望の場合は、当社拡販パートナーもしくは営業までご連絡ください。

課題解決をお手伝い！最新のソリューションを体感できる施設でやす！

ロボットのご検討からソリューションテスト、アフターサービスまで、万全の体制を整えているでやす。まずは皆さんお気軽に、関東ロボットセンタへ行くでやすよ～!!

お客さまの課題解決や新たな自動化への適用方法を詳しくチェック!

